

経営理念 (p3)

私たちの役割

私たちは、安心・安全・快適で、時代をリードする高速道路空間の創出を通じて、地域社会の発展と暮らしの向上、日本経済全体の活性化、世界の持続可能な成長に貢献します。

基本姿勢

私たちは、次の6点を基本姿勢に、より良い会社でより強い会社をめざします。

1. お客様を第一にする
2. 社会の信頼を獲得する
3. 革新的であり続ける
4. 環境を重視する
5. 現場に立って考え行動する
6. チームワークを大切にする

経営方針 (p3)

5か年を通じた経営基本方針(2011-2015 年度):

『世界一の高速道路会社をめざして』

～すべてのステークホルダーの皆さまに感動と満足を～
～飛躍へのたゆまぬ挑戦～

経営方針

2012年度の経営方針は次の3点です。

- ・「世界一の高速道路会社」に向けた施策の確実な実行
- ・期待を超える感動のお届けと揺るぎない信頼の獲得
- ・新たな領域への果敢な挑戦

コーポレート・スローガン (p4)

道を通じて感動を 人へ、世界へ

数値目標 (p5)

	年度	2012	2013	2014	2015	2016
開通延長(2012～累計)	km	193	208	306	311	322
サービスエリア店舗総売上高	億円	1,690	1,750	1,810	1,930	1,980
関連事業 税引前利益	億円	52	61	74	96	102

KPI:重要業績評価指標 (p6)

NEXCO中日本グループは、グループの現在の姿を示す指標として24項目のKPIを設定しています。

なお、2012年度においては、施策への取組みとその効果や達成状況の関係をより直接的に把握するために一部の測定指標を見直しました。

カテゴリ		測定指標	単位	2011目標	2011実績 【見込み】	2012目標	2015目標
お客さま	安全・安心	通行止め時間 (※1)	時間	1,794	3,335 □	1,633	1,566
		事故・工事〔災害復旧含む〕・雪によるもの		1,352	1,203 ■	1,192	1,125
		事故・工事・雪・雨によるもの(※2)		1,200	2,172 □	—	1,170
		死亡事故率	人/10億台km	1.6	1.9 □	1.5	1.2
	快適・感動	渋滞量 (※1)	千km・時間	158.0	154.9 ■	135.3	95.0
			渋滞損失時間(※2)	万台・時間	1,264	1,204 ■	—
		CS調査値 高速道路事業とサービスエリア事業のお客さま満足度の平均値	点	64.3	60.9 ■	66.7	74.0
感動指数		点	—	38.6	40.7	47.1	
社会的責任	環境	CO ₂ 排出量(※3) オフィス活動によるもの	t-CO ₂	8,360	7,539 ■	7,464	7,242
		CO ₂ 排出量(路線延長1kmあたり)(※4) 保安・サービス事業、関連事業、お客さま車両の走行によるもの	t-CO ₂ /km	5,241	5,217 ■	5,275	4,520
	地域連携	社会貢献活動件数	件	760	1,252 ■	820	1,000
拡大成長・ 技術	関連事業 新規事業	サービスエリア店舗総売上高	億円	1,530	1,502 ■	1,690	1,930
		新事業プロジェクト数	件	2	2 ■	4	10
		新商品・サービス件数	件	5	12 ■	20	40
		関連事業売上高成長率(※1) 2010年度の売上高を100%とする	%	—	122	129	167
		事業多角化指数(※2)		29	26 □	—	33
	海外事業	海外事業プロジェクト案件数	件	1	0 □	2	4
技術開発	特許出願件数	件	15	16 ■	16	20	
組織・人材	モチベーション	ES調査値(働きがい)	点	3.50	3.47 ■	3.54	3.66
		経営職登用年齢(最年少) (※5)	歳	45	43 ■	42	38
	イノベーション	イノベーションからの事業化件数	件	1	1 ■	3	8
		イノベーションポスト提案件数	件	1,000	2,054 ■	3,000	10,000
	ダイバーシティ	女性管理職数(※5)	人[累計]	5	5 ■	5	10
生産性	生産性	建設コスト削減累計額	億円[累計]	145	166 ■	185	310
		km当たり管理費	百万円/km	69	71 ■	68	66
		サービスエリア事業売上高営業利益率 サービスエリア事業営業利益/サービスエリア事業営業収益	%	19	16 □	16	23
		従業員1人当たりサービスエリア事業売上高 サービスエリア事業営業収益/サービスエリア事業従事社員	百万円/人	105	106 ■	108	116
		総労働時間(グループ全体)	時間/年	2,000	1,994 ■	1,950	1,800

※1 測定指標の見直し 施策への取組みとその効果や達成状況の関係をより直接的に把握するため、2012年度から次の項目について測定指標を見直します。
 通行止め時間 : 測定の対象を、事故・工事・雪・雨による通行止め時間から、事故・工事(災害復旧含む)・雪による通行止め時間に変更します。あわせて、通行止め時間の総計を示します。
 渋滞量 : 単位を渋滞損失時間(万台・時間)から渋滞量(千km・時間)に変更します。
 関連事業売上高成長率 : 事業多角化指数(関連事業売上高÷(通行料収入+関連事業売上高))を、関連事業売上成長率(2010年度を100%とする関連事業連結売上高の割合)に変更します。

※2 見直し前の測定指標による数値を示しています。

※3 環境省が公表した2010年度の排出係数で算出しています。経営計画2011公表時の目標値「10,223(t-CO₂)」は2009年度の排出係数で算出したもので、2010年度の排出係数で算出すると「8,360(t-CO₂)」になります。

※4 高速道路ネットワークが整備されることなどによる一般道から高速道路への交通の転換も考慮しています。

※5 NEXCO中日本(グループ会社を除く)の数値を示しています。

【凡例】2011年度の達成状況(見込み)
 目標達成 : ■
 10%未満の未達 : ■
 10%以上の未達 : □

基本施策

すべてのステークホルダーの皆さまに感動と満足を (pp7-16)

- **「安全・安心・快適」な高速道路空間を創出 (pp7-8)**
 - ・信頼性の高い高速道路ネットワークを構築します。
 - ・高速道路を長期にわたり健全な状態に維持し、後世に優良な資産を継承するために「百年道路」計画を推進します。
 - ・お客さまと協働して「安全・安心」の実現するために関係機関と連携して交通安全対策や啓発活動に取り組みます。
- **感動と信頼のNEXCO中日本ブランドを構築 (pp9-10)**
 - ・ISO10002(お客さま対応プロセスのマネジメントシステムに関する国際規格)の自己適合宣言など、お客さま第一の対応の実現に取り組みます。
 - ・新たな双方向コミュニケーションの拠点として2か所に「コミュニケーション・プラザ」を開設します。
- **本業を通じたCSRの実線 (pp11-14)**
 - ・当社の事業エリアの関係都県(1都11県)と締結した包括的提携協定に基づき、産業・観光の振興や災害発生時の協力など、地域との連携を強化します。
 - ・地域の拠点となる大学と連携して研究開発や人材育成の活性化に寄与します。
- **高い倫理観に根ざした企業文化の醸成 (pp15-16)**
 - ・コンプライアンス行動計画を策定してグループ全体のコンプライアンス意識の向上に取り組みます。

飛躍へのたゆまぬ挑戦 (pp17-22)

- **新たな事業領域への挑戦 (pp17-18)**
 - ・グループの経営資源を統合してマーケティングや製品開発を強化します。
- **次世代の高速道路システムの展開 (p19)**
 - ・新東名リーディングプロジェクトの実証実験を踏まえて「世界をリードする高速道路システム」を展開します。
 - ・世界的水準で競争力を有する技術開発を推進します。
- **変革への強い意志を持った人材の育成 (pp20-21)**
 - ・キャリアパスに応じたOJTや専門研修など幅広く研修参加の機会を設けて社員の可能性を引き出し、成長を支援します。
 - ・海外事業に参画できるグローバル人材を育成します。

高速道路事業施策 (pp23-34)

➤ 2012年度から2016年度までの5か年で322kmの新規開通を予定

完成予定年度	路線名	区間(仮称を含む)	延長
2012年度 (計193km)	新東名	御殿場JCT～三ヶ日JCT	162km
	紀勢道	紀伊長島～紀勢大内山	10km
	圏央道	西久保JCT～寒川北	5km
		海老名～相模原	10km
東海環状道	大垣西～養老JCT	6km	
2013年度 (15km)	圏央道	相模原～高尾山 ※	15km
2014年度 (計98km)	新東名	浜松いなさJCT～豊田東JCT	55km
	舞鶴若狭道	小浜～敦賀JCT	39km
	圏央道	寒川北～海老名JCT	4km
2015年度 (計5km)	新名神	四日市JCT～四日市北JCT	4km
	東海環状道	東員～四日市北JCT	1km
2016年度 (計11km)	新東名	海老名南JCT～厚木南	2km
	中部横断道	六郷～増穂	9km

※なお、城山ICについては2014年度の完成を予定しています。

- **東京外かく環状道路(東京外環)・中央自動車道～東名高速道路間の建設に着手 (p25)**
(2020年度の完成をめざします)
- **名古屋第二環状自動車道(名二環)・名古屋西JCT～飛島JCTの建設に着手 (p25)**
(2018年度の完成をめざします)
- **東海北陸道・白鳥～飛騨清見の4車線化に着手 (p25)**
(2018年度の完成をめざします)
- **災害に強い高速道路づくり (pp26-27)**
 - ・地震や津波の被害想定を見直して業務継続計画(BCP)を更新し、グループの防災体制をさらに強化します。
 - ・サービスエリアの防災拠点化を進めます。
- **渋滞対策の推進 (p29)**
 - ・東名阪道・四日市東～四日市について、2012年度から並行する新名神・四日市JCT～亀山西JCTが開通するまでの間、暫定的に車線を増やして渋滞を緩和し、事故を削減します。
 - ・東名・海老名JCT付近(上り)の付加車線を2013年度までに完成させます。
- **スマートICの整備による利便性の向上 (p30)**
 - ・2016年度までに14か所のスマートICを整備します(うち2か所については、2012年4月14日の新東名開通にあわせてすでに完成しました。)

関連事業施策 (pp35-39)

- **お客さまに感動していただけるサービスエリアを創造 (p35-37)**
 - ・新たな時代を象徴する「NEOPASA」^{ネオパサ}ブランドを確立します。
 - ・お招きとおもてなしの心で、お客さまの期待を超えて感動を呼ぶサービスをめざします。

- **サービスエリアを通じて地域の発展や環境保全に貢献 (p38)**
 - ・高速道路をご利用のお客さまだけでなく周辺にお住まいのお客さまにもサービスエリアをより便利にご利用いただくために、一般道からサービスエリアに立ち寄ることができる「ぷらっとパーク」を拡充します。
 - ・NEOPASA静岡(上り)をスーパーエコ・エリアとして整備します。

- **旅行業やカードサービス事業の推進 (p39)**
 - ・高速道路の建設現場や施設の見学を含むバスツアーなど、当社ならではの旅行商品を販売します。
 - ・カードサービスの魅力向上と利用促進に取り組みます。

- **グループがもつ技術・ノウハウを活用して海外事業を推進 (p39)**
 - ・昨年設立した日本高速道路インターナショナル^{ジェックスウェイ}(JEXWAY)と連携して海外事業を推進します。